

田川広域水道だより

統合
準備号
No.1

田川広域水道企業団（田川市・川崎町・糸田町・福智町）は令和5年4月に事業を統合します。これまでの「市役所、役場の水道」から「水道企業団」として生まれかわります。

統合によって、さまざまなことが変わります。検針、料金、請求、窓口など住民のみなさんにお伝えしたいことがたくさんあります。

紙面の都合はありますが、できる限りお伝えできるよう、今後「統合準備号」として広報紙を発行してまいります。よろしくお願ひいたします。

企業長 二場 公人

令和5年4月から… 水道料金が変わります!!

1 水道料金は住んでいるまちごとに違います!

水道料金は全国統一ではありません。河川の水質や水道管の布設状況など各市町村によって、水道事業の運営にかかる経費がそれぞれ異なるため、各市町村によって水道料金は違います。田川市、川崎町、糸田町、福智町もまちごとに水道料金が違います。

2 4つの水道料金を1つに統一します!

現在、まちごとに異なる水道料金ですが、事業統合することにより1つになります。それにより、お客さまによっては、料金が上がる場合も、下がる場合もあります。

水道料金が上がる場合は、料金統一から5年間は値上げが据え置かれます。

3 いま統一料金を検討しています!

令和3年8月から学識経験者と田川市、川崎町、糸田町、福智町から選ばれた委員で、水道料金統一に伴う料金水準と料金体系のあり方について、必要な調査や研究を行い、住民のみなさんのライフラインである水道を今後も安定的に供給するために、適切な水道料金の審議を進めています。



田川広域水道企業団が
(田川市、川崎町、糸田町、福智町)

統合する理由

全国の水道事業において、
節水機器の普及による使用水量の減少や人口の減少により、
水道料金の収入は減少傾向にあります。
その一方で、高度経済成長期に整備した水道設備が耐用年数に達し、
今後それらの施設の更新・耐震化が急務となり、
多額の費用が必要となっているため、水道事業の経営が厳しくなります。



この問題を解決するため、田川広域水道企業団は事業統合します!!

統合のメリット

1 施設の統廃合による費用の削減及び施設規模拡大によるスケールメリット



施設の統廃合を行い、同様の施設への二重投資を避けることで、費用の削減を目指します。

また、4つの自治体が共同で水づくりを行うことで、施設を集約することにより、単独でするよりも費用を抑えることができます。

例えば

取水場 14か所 → 5か所
浄水場 10か所 → 2か所

2 業務の共同処理による組織の見直しを実施



4つの自治体がそれぞれ行っている業務と組織を再編して一元化します。業務の効率化を目指し組織や職員数の見直しを実施します。

3 補助金の活用



統合(広域化)することで交付される、国からの補助金を、老朽化した水道管の更新や統合を行うにあたって新たに整備される施設等に最大限活用しています。



水道料金値上げの抑制



4つの自治体が事業統合をせずに今後も単独で事業を継続した場合、
単独で老朽管や施設を更新するため、大幅な料金値上げは避けられません。
事業統合することで1~3のメリットにより、**その値上げ幅を抑制することができます。**

※令和3年7月発行の水道だより裏面「Q 今後の水道料金は?」の設問にて、水道料金を水道基本料金と記載しておりました。本紙にて、お詫びと訂正をさせていただきます。

問い合わせ先

田川広域水道企業団 事務局本部 〒825-8501 田川市中央町1番1号
TEL.0947-23-2147 FAX.0947-23-2148



ホームページ

<https://www.tksk.or.jp/>